



学校だより



学校教育目標

「学び合い、つながり合い、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす」

令和7年度(令和8年)2月号 枚方市立小倉小学校 電話 050 (7102) 9092

令和7年度もいよいよよまどめの時期を迎えました。1月21日には5年生が今年度5回目の研究授業を行い、研究主題である「すべての子どもが主体的に学びに向かい、ともに学び、ともに育つ姿」をめざして、子どもたちが目標をもち、互いに認め合いながら学び合う姿が見られました。2月には、今年度最後となる公開研究授業を予定しており、本校の学びの成果をしっかりと示してまいります。

また2月は、1年間の学習のまとめを行う大切な月です。子どもたちは、これまで積み重ねてきた学習をふり返し、新しい学年への見通しをもつ時期となります。最後の参観日には、その成長した姿をご覧いただければと思います。

加えて、1月15日には地震を想定した避難訓練を実施しました。全員が安全を意識し、落ち着いて避難することができ、これまでの訓練の成果がしっかりと表れていました。日本は地震の多い国であり、日頃から「自分の命を守る力」を育てることが何より大切です。本校では、今後も安全教育を継続し、子どもたちが安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。

2月も引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小倉小学校 校長 雨森 正浩

地震避難訓練



先月の行事

第7回校内研究全体会



大縄大会



5年生校内研究授業



3年生福祉体験



タイトルをタップして下さい！

行事のタイトルをタップすると、学校ブログで詳細を確認することができます。是非、ご覧ください。また、下のQRコードから学校ブログに入ることができます。



ICT 活用の意義と共生社会への教育基盤

この度実施いたしました「学校教育自己診断」では、ICT 機器の活用に関して「**ランドセルの重量化**」や「**目の負担**」、「**紙に書く機会の減少**」を心配する声が寄せられました。これらのご意見は、学校がデジタル化を進める上で真摯に向き合うべき重要な課題であると認識しております。

次期学習指導要領に向けた国の検討（論点整理）では、ICT（デジタル学習基盤）は単なる便利な道具ではなく、「**多様な子供たちが皆共に学ぶ**」ための**不可欠な基盤**として位置付けられています。なぜ今、ICT を使って「みんな」で学ぶことが大切なのか、その意義をお伝えいたします。

1. 「多様性の包摂(Equity)」を実現する力

現代の教室には、学習面や行動面に困難を抱える子、母語が異なる子など、多様な背景を持つ子供たちが共に過ごしています。ICT は、一人ひとりの障害の状態や特性に合わせた「**合理的配慮**」を、集団の中で自然に提供することを可能にします。例えば、書くことが苦手な子が音声入力を使ったり、読み上げ機能を活用したりすることで、「**みんなと同じ場**」で、**自分の力を発揮して共に学ぶ**ことができるようになります。

2. 「協働的な学び」で納得解を導く

これからの社会（生成 AI 時代）では、皆と同じことができるだけでなく、「**多様な他者**」と**対話・協働し、新たな価値を創造する力**が求められています。ICT を活用して互いの考えを瞬時に共有し、少数意見も吟味しながら「**納得解**」を導き出す過程は、民主的で公正な社会の創り手を育てる大切な学びです。

3. 個別最適な学びとの一体的充実

ICT は、子供自身が自分のペースで学びを調整する「**個別最適な学び**」を支えます。これにより、学習の遅れやつまずきを解消しつつ、全員が「わかる」実感を持ちながら、集団での深い学びに参加できるようになります。

本校では、皆様の懸念を踏まえ、デジタルとリアル「二項対立」に陥ることなく、**人間ならではの身体性や「書くこと」による定着**も大切にしながら、バランスの良い指導に努めてまいります。すべての子どもが誰一人取り残されることなく、互いの違いを認め合いながら共に成長できる学校づくりに、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

なぜ、今ICTで学ぶのか？ 多様な子どもたちが共に輝く教室へ

保護者の皆様から寄せられたICT活用への懸念（ランドセルの重量化、目の負担等）を踏まえつつ、ICTが単なる道具ではなく「多様な子供たちが共に学び」ための不可欠な教育基盤である理由を、3つの力として解説します。

ICTが拓く「共に学ぶ」3つの力

多様性の包摂：どんな子も取り残さない

音声入力等の合理的配慮により、誰もが「みんなと同じ場」で学べます。



協働的な学び：対話から「納得解」を創る

AI時代に不可欠な、多様な他者と価値を創造する力を育みます。



個別最適な学び：自分のペースで「わかる」を実感

全員が自信を持って、集団での深い学びに挑戦できるようになります。



私たちが大切にするバランス

デジタルとリアル「二項対立」ではない人間ならではの身体性や「書くこと」による学習定着も重視します。

